

小淵沢駅前広場整備計画におけるワークショップ開催について

■ワークショップ開催の目的

本WSでは、小淵沢駅の日常的な利用者である市民に意見を伺い、新しい小淵沢駅・駅前広場の基本設計における目指すべき将来像や基本方針等に反映するとともに、現状の利用状況と満足度の調査、また北杜市の特性と市民参加によるまちづくり促進の可能性についての情報収集を行うために実施する。

■開催日時：平成24年9月1日（土）16：30～18：30

■開催場所：生涯学習センターこぶちさわ

■ワークショップ内容

1. 研究室発表

①北杜市、小淵沢の特徴と分析について

地理的特質や河川や湧水などの自然条件をはじめ、歴史的風土、また上位計画における位置づけなど様々な観点から北杜市・小淵沢の特徴を俯瞰する。

- ・ 資源 … 自然/水/太陽/食 など
- ・ 文化 … 縄文集落/沢山の美術館やギャラリー/サークル活動が盛ん/クラフトマンが多い など
- ・ 位置づけ … 交通結節点/八ヶ岳観光圏の玄関口 など

②駅前広場、駅周辺の現況と利用状況について

駅前広場を中心とした商店街を含んだ街区を対象に、現状の提示をする。

また、駅周辺の現況の様子が景観上の課題を抱えているという点について、市民と問題意識の共有を図ることを目的とする。

- ・ 交通計画について
- ・ 景観の観点（電柱や看板などの存在）
- ・ 余剰スペースの活用について
- ・ 電車の待ち時間について
- ・ 商店街の現況について

③①②の内容をうけた課題設定：固有条件の抽出

現況にて提示した検討課題について、課題に潜む問題の原因を明確化する。

問題とその解決方法等を分類し、北杜市・小淵沢の必要十分条件を導く。

④小淵沢駅前広場を含む地域活性化の可能性と方向性（コンセプト）の提示

上記にて浮上した条件について提案をする。駅前広場という観光を推進する北杜市・小淵沢の出発点としての光景を創出することを目的とする。

2. 意見交換会